

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会 意見 評価												
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5																	
【1】住民による 自主的な地域 活動の推進	(1)ふれあいいき いきサロンの推進	54	社協	<p>〔社協〕</p> <p>①レクリエーションの実施、遊具の貸出、初期活動に対する財政的支援等の実施 ・職員がサロンを訪問し、レクリエーションの支援や情報提供を行う。 ・新規サロンの増設や、既存サロンの活性化につなげるためレクリエーション用遊具を補充し、貸し出す。 ・新規サロンへの財政的支援(2年間)</p> <p>②サロンリーダー及びボランティアの支援・育成(いきいきサロンリーダー研修会等の開催) ・いきいきサロン研修会の開催 北部、中部、東部、黒島、宇久、計5カ所で実施する。</p> <p>③いきいきサロン活動の周知、事業説明等による開設支援 ・福推協会長連絡会、各地区総会等での事業説明、事例提供によるサロン開設の推進 ・地域包括支援センターや第2層生活支援コーディネーターとの連携によるサロン開設の推進</p> <p>④サロン活動の支援につながる関係機関、企業の情報収集、連絡調整 ・ボランティアグループ、福祉事業所、医療機関、企業等によるプログラム支援の情報提供、連絡調整を行う。</p> <p>⑤地域共生サロンの開設の推進 ・既存サロンや社会福祉法人等への事業説明、協力依頼、活動周知等に取組む。</p>	いきいきサロン 設置力所数	目標値	220 カ所	240 カ所	260 カ所	280 カ所	300 カ所	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>〔社協〕</p> <p>①職員によるサロン新規開設、運営等の支援 ・新規開設:7カ所(活動廃止5カ所⇒2カ所増) ・職員訪問支援:284回 ・初期活動(2年間)への財政的支援:16カ所(178,000円) ・新型コロナウイルス感染症予防のため、感染段階に応じた実施判断基準について案内するとともに、感染症対策に関する資料等を配布した。</p> <p>②いきいきサロン研修会の開催 ・5カ所(東部、中部、北部、黒島、宇久)で開催を予定 ・内容:スマートフォン講座(LINEの使い方について) →新型コロナウイルス感染症予防のため中止し、令和4年度の開催を検討。</p> <p>③サロン活動の周知、事業説明等 ・新設サロンを中心に、年間計画の作成支援やプログラムの検討、回覧用チラシの作成、 広報紙への掲載等、地域包括支援センター、生活支援コーディネーターと連携して支援を行った。 ・「くらしに役立つ福祉情報ガイド」に掲載しているサロングループの情報を更新し、市民や関係機関への周知を図った。</p> <p>④関係機関、企業との連絡調整 ・事業所、警察、消防、消費生活センター、ボランティアグループ、個人ボランティア、企業等の外部講師へ支援を依頼し、プログラムの充実を図った。</p> <p>⑤地域共生サロンの開設 ・高齢者を対象としたサロンに子どもや障がい者等、誰もが参加可能な形態による実施をはたらきかけ、開設を予定していたが、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、交流活動実施が困難となった。(新規開設:0カ所)</p> <p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>○新型コロナウイルス感染症予防のため、予定していた研修会やレクリエーション交流大会を中止せざるを得なかった。 →「スマートフォン講座」については、オンラインでの開催が難しかったため、令和4年度に開催を検討している。今後は感染状況を考慮し、オンラインを活用した研修会・レクリエーション交流大会の開催方法について検討する。</p> <p>○新型コロナウイルス感染症予防のため、サロン活動の自粛や活動が制限される中で、市長寿社会課や地域包括支援センター、第2層生活支援コーディネーターと連携し、感染予防対策のチラシや自粛期間中の介護予防のための資料等を配布することができた。 →今後も連携体制を強化し、各サロンの状況把握を行いながら、継続的な見守りや介護予防、孤立防止の活動が行えるように支援する。</p> <p>○令和2年度にサロンからの要望が多かった、「新型コロナウイルス感染症に関する講話」や「地域の防災対策に関する講話」を実施した。 →今後も、参加者が関心のある事柄についてサロンプログラムに取り入れることで、内容の充実、サロン活動の活性化を図る。</p>	実績値	247 カ所	263 カ所	265 カ所			達成度	120%	110%	102%	3	<p>・今後の取組み方針の通り実施していただきたい。</p> <p>・ホームページでの検索がしやすくなるよう努めていただきたい。</p>	3		
					いきいきサロン 研修会等開催 回数 (開催力所数)	目標値	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)				実績値	年1回 (5カ所)	感染 予防 のため 中止	感染 予防 のため 中止			達成度	100%				0%	0%
					地域共生サロン 設置力所数	目標値	20カ所	25カ所	30カ所	35カ所	40カ所				実績値	20カ所	20カ所	20カ所			達成度	100%				80%	67%
					目標・指標 事業達成度(達成度平均)												56%										

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針					自己 評価	推進委員会																
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5						意見	評価																	
【1】住民による 自主的な自主 活動の推進	(2)食を通じた地 域活動の支援	55	市 社協	<p>〔市・社協〕</p> <p>①食事サービスグループの活動実績 に応じた助成金の交付</p> <p>②ボランティアを対象とした料理教室 の実施 ・食事の提供が充実するよう、ボラン ティアを対象とした料理教室を行う。</p> <p>③子ども食堂など、食を通じた交流活 動への支援 ・市民や企業への広報、協力企業と の連絡調整などを行い食事の提供を 通じた交流活動を推進する。</p>	料理教室等研 修会開催回数	目標値	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	年1回 (5カ所)	<p>【具体的な取組みと実績】</p> <p>〔社協〕</p> <p>①食事サービスグループへの助成金</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>H30</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動実績</td> <td>15,732食</td> <td>13,995食</td> <td>3,633食</td> <td>3,627食</td> </tr> <tr> <td>助成金</td> <td>4,090,320円</td> <td>3,638,700円</td> <td>944,580円</td> <td>943,020円</td> </tr> </tbody> </table> <p>(1食あたり、260円の助成金を交付)</p> <p>②料理教室等の開催 ・食事サービスグループリーダー研修 →新型コロナウイルス感染症予防のため中止 ・料理教室 →新型コロナウイルス感染症予防のため、料理教室に替わる取り組みとして、過去5年 分の料理教室レシピをまとめたレシピ集を作成し各食事サービスグループに配付した。 また、感染レベルに応じた活動実施について情報提供を行った。</p> <p>③子ども食堂などの地域活動を支援するため、市民や企業への広報、食材提供企業との 連絡調整の実施。協力企業の新規開拓はなかったものの、昨年に引き続き「JAながさき 西海」の協力を得て、子ども食堂の運営に協力し、食の提供を通じた交流活動を推進する。</p>					項目	H30	R1	R2	R3	活動実績	15,732食	13,995食	3,633食	3,627食	助成金	4,090,320円	3,638,700円	944,580円	943,020円	3	今後の取組み方針 のとおり実施してい ただきたい。	3
						項目	H30	R1	R2	R3																								
						活動実績	15,732食	13,995食	3,633食	3,627食																								
						助成金	4,090,320円	3,638,700円	944,580円	943,020円																								
実績値	年1回 (5カ所)	感染 予防 のため 中止	感染 予防 のため 中止																															
達成度	100%	0%	0%																															
目標値	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	1カ所	<p>【実施結果の分析と今後の取組み方針】</p> <p>〔社協〕</p> <p>○新型コロナウイルス感染症予防のため、リーダー研修会は中止したが、料理教室にお いてはそれに替わる取り組みとしてレシピ集を作成し、配付することができた。 →今後は、感染予防を徹底しながら、オンラインの活用や状況に応じた取り組みを計画し 実践する。</p> <p>○新規企業の開拓はできていないが、「JAながさき西海」からの協力を継続して得られら た。なお、提供量が約2倍に増えた。 →引き続き、食を通じた交流活動への支援・市民や企業への広報、協力企業との連絡調 整などを行い、食の提供を通じた交流活動の推進に努める。</p>																												
実績値	1カ所	1カ所	0カ所																															
達成度	100%	100%	0%																															
目標・指標 事業達成度(達成度平均)											0%																							

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会	
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5				意見	評価	
【1】住民による自主的な自主活動の推進	(3)コミュニティビジネスに関する研究	55	市 社協	〔市・社協〕 ①福祉分野における先行事例の研究  ②新たな活動の創出に向けた事業活動(コミュニティビジネス)についての検討	コミュニティビジネスの研究	—	検討	検討	検討	検討	検討	【具体的な取組みと実績】 〔市〕 自治協が行うコミュニティビジネス R3推進内容(負担なく活動資金を調達) ①コミュニティビジネス勉強会を2回開催。 ・法人県民税均等割額21,000円 ・法人市民税均等割額50,000円 ②投資もなく人的負担の少ないコミュニティビジネスを提案 ・自動販売機をコミセン内へ設置 ・株式会社西九州させぼパワーズとの「代理店契約」若しくは「協定」 ③人材の配置が可能な地区のヒアリング(西地区、南地区、世知原地区)  〔社協〕 ①全国のコミュニティビジネスに関する情報を収集。岩手県北上市口内町の「店っこくちない」では、町内の店舗の撤退に伴い、NPO法人くちないを設立し自家用有償旅客運送を開始、その後、店舗も復活させ地域の交流拠点になっている。また島根県雲南市掛合町波多地区の「はたマーケット」では、廃校となった小学校を活用した店舗兼交流センターを展開している。 ②市と情報の共有と今後の連携に向けた意見交換を行った。本市では地域の生活課題について地域住民が中心となって解決していく取り組みが進められており、それらの支援の一環としてサービスに関わる立ち上げ費用の一部を補助する仕組みを設けた。	2	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい。	2	
						実績値	検討	検討	検討	【実施結果の分析と今後の取組み方針】 〔市〕 R4推進内容(ビジネスそのものの効用による地域活性化) コミュニティビジネス推進事業補助金(自治協のコミュニティビジネスへの着手を支援) 補助対象者:地区自治協議会 上限:1,000,000円(補助率:10/10) 対象経費:委託料(その他市長が認めるもの) 予算額:3,000,000円  〔社協〕 ○予定していた先進地視察研修は、新型コロナウイルス感染症の影響で中止している。また、前年度に引き続き情報収集のみで終わった。地域課題に対してどのように事業を展開していくのか、具体的ビジョンや手法を明確にできず、他の事業との差別化ができなかった。 →福祉的視点を持ったコミュニティビジネスの在り方を明確にして事業の方向性を定めるとともに、今後は生活支援体制整備事業等で把握している地域課題等を参考に、本市におけるコミュニティビジネスの可能性、実施方法について、収集した全国の先行事例を基に検討を進めていく。						

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会																				
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5				意見	評価																				
【2】ボランティア・市民活動の推進	(1)ボランティアセンター運営	56	社協	[社協] ①ボランティアに関する相談対応 ・ボランティア・市民活動に関する相談受付、活動の支援など  ②ボランティア活動希望者とニーズのマッチング ・ボランティア活動希望者と支援を必要とする人などのコーディネート  ③ホームページや広報紙等によるボランティア情報の発信 ・社協ホームページに活動情報、研修会等の情報を掲載  ④ボランティア広報紙の発行 ・ボランティア情報誌「くれよん」の発行 (2カ月に1回)	ボランティア活動依頼件数	目標値	130件	140件	150件	160件	170件	【具体的な取組みと実績】 [社協] ①②ボランティアに関する相談対応、マッチング等の実績		3	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい。	3																			
						実績値	130件	40件	49件			<table border="1"> <thead> <tr> <th>項目</th> <th>R1</th> <th>R2</th> <th>R3</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>活動希望件数</td> <td>201件</td> <td>81件</td> <td>147件</td> </tr> <tr> <td>活動依頼件数</td> <td>130件</td> <td>40件</td> <td>49件</td> </tr> <tr> <td>活動提供件数</td> <td>122件</td> <td>39件</td> <td>32件</td> </tr> <tr> <td>活動問合せ件数</td> <td>1,261件</td> <td>804件</td> <td>836件</td> </tr> </tbody> </table>	項目				R1	R2	R3	活動希望件数	201件	81件	147件	活動依頼件数	130件	40件	49件	活動提供件数	122件	39件	32件	活動問合せ件数	1,261件	804件	836件
					項目	R1	R2	R3																											
					活動希望件数	201件	81件	147件																											
活動依頼件数	130件	40件	49件																																
活動提供件数	122件	39件	32件																																
活動問合せ件数	1,261件	804件	836件																																
	達成度	100%	29%	33%			③ホームページを通じた情報発信 ・社協ホームページにボランティアセンター案内、活動方法、ボランティア情報を随時掲載																												
ボランティア活動希望登録者数	目標値	355名	380名	405名	430名	455名	④ボランティア情報紙「くれよん」の定期発行など広報活動 ・A3サイズ 両面 4,450部、年6回(偶数月)発行 ・タウン誌(ライフさせぼ R4.3.25号)にボランティアセンター活動内容を掲載																												
	実績値	303名	292名	300名			【実施結果の分析と今後の取組み方針】 [社協] ○新型コロナウイルス感染症拡大の影響で、令和2年度と同様に相談件数や来所者数が減少している。マッチングしたボランティア活動についても、活動中止となったものもあった。マッチング率が低下しているのは、ボランティア活動自体の自粛を余儀なくされたことや依頼に対し新型コロナウイルス感染予防のためボランティアセンター側で保留としたためである。 →今後も同様の傾向が予想されるため、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じて講座(オンライン講座等)を開催したり、ホームページや情報紙「くれよん」を活用してボランティア情報の発信を積極的に実施し、ボランティア登録者の確保、意識啓発につなげる。																												
	達成度	85%	77%	74%			○コロナ禍の影響で活動の自粛や中止が続いたが、今後はコロナ禍が改善していくことにより、ボランティア受け入れ等も増えスムーズにマッチング率も改善していくものと思われる。																												
	ボランティアマッチング率 (活動提供件数/活動依頼件数)	目標値	98%	98%	98%	98%	98%																												
		実績値	94%	98% (39件/40件)	65% (32件/49件)																														
		達成度	96%	100%	66%																														
目標・指標 事業達成度(達成度平均)												58%																							

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会 意見 評価	
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5						
【2】ボランティア・市民活動の推進	(2)ボランティア活動支援	57	市 社協	<p>〔市〕</p> <p>①ボランティアセンターと共催で、市民公益活動を行っている団体・個人に対する研修の開催</p> <p>②「市民協働交流月間」等の開催</p> <p>〔社協〕</p> <p>①各種ボランティア講座及び研修会の開催 ・ボランティア入門講座、ボランティア実践講座等の開催</p> <p>②登録ボランティアグループへの研修費補助 ・自主研修会の開催、県内外研修会参加費等の一部補助</p> <p>③ボランティア出前講座の実施 ・企業や各種団体等の依頼に応じたボランティアに関する講座の実施</p>	ボランティア入門講座修了者数(累計)	目標値	40人 (40人)	40人 (80人)	40人 (120人)	40人 (160人)	40人 (200人)	【具体的な取組みと実績】 〔市〕 ①「ボランティア・NPO研修」(社協との共催)は、令和2年度をもって事業終了となった。 ②「市民協働交流月間」等の開催は、令和2年度をもって事業終了となった。 ※①②は終了となったが、会議室の貸出や設備の提供、情報提供や広報を通して支援を行っている。		2	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい。	2
					ボランティア実践講座開催回数	実績値	38人	24人 (62人)	6人 (68人) ※一部中止			〔社協〕 ①各種ボランティア講座や研修会の開催 ○ボランティア入門講座(開催実績:2回中1回開催) 《第1回》開催日:令和3年6月26日(土) ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止 《第2回》開催日:令和3年10月16日(土) 参加者:6名 ○ボランティア実践講座 新型コロナウイルス感染症予防のため人数を縮小して開催した。 《第1回》開催日:令和3年7月21日(木) テーマ:地域の防災活動について ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止 《第2回》開催日:令和3年11月25日(木) 場 所:させぼ市民活動交流プラザ テーマ:車椅子の使い方を学んでみよう 参加者:7名 《第3回》開催日:令和4年3月17日(木) 場 所:させぼ市民活動交流プラザ テーマ:介護保険制度について学んでみよう 参加者:16名				
					達成度	95%	60%	15%			②登録ボランティアグループへの研修費補助 申請団体:7団体 研修費補助金額:301,000円					
					目標値	年4回	年4回	年4回	年4回	年4回	③ボランティア出前講座の実施(依頼 1回) ・長崎県すこやか長寿大学校 ※新型コロナウイルス感染症予防のため中止					
				ボランティア実践講座開催回数	実績値	4回	3回 ※一部中止	2回 ※一部中止			【実施結果の分析と今後の取組み方針】 〔市〕 上記の①②は検討の結果、令和2年度をもって事業終了となったが、引き続き、会議室の貸出や設備の提供、情報提供や広報を通して支援を行っていく。					
				ボランティア・NPO研修開催回数	実績値	1回	感染予防のため中止	事業終了			〔社協〕 ○各講座とも新型コロナウイルス感染症拡大により中止や縮小を余儀なくされ参加者が大幅に減少した。 →感染対策の徹底を図るとともに、オンライン方式を取り入れた開催を増やすなど、状況に応じた方法で開催していく。					
				ボランティア出前講座開催回数	実績値	4回	2回	感染予防のため中止			○ボランティア実践講座は、活動者へのフォローアップ的な要素での研修であり、活動者の関心の高い講座となっている。 →今後もボランティア実践者の活動に役立つ内容を、研修アンケート等を参考にしながら企画していく。					
				ボランティア出前講座開催回数	達成度	100%	75%	50%			○ボランティア入門講座修了者は、ボランティアに関心のある人材の確保につながっており、今後もコロナ禍に対応した講座を実施していく。					
					目標値	年2回	年2回	年2回	年2回	年2回	○コロナ禍により依頼数も減少していることから、今後はボランティア活動に対する問い合わせの比較的多い学校等に対しても積極的にPRをしていき、ボランティアの新たな発掘つなげる。					
					達成度	200%	100%	0%			目標・指標 事業達成度(達成度平均)		22%			

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会 意見 評価									
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5														
【2】ボランティア・市民活動の推進	(3)災害ボランティアネットワークの推進	58	社協	〔社協〕 ①佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会の運営 ・情報交換、情報共有のための連絡会議の開催  ②市総合防災訓練への参加 ・訓練プログラムの一つとして災害ボランティアセンター設置運営訓練を実施  ③災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施 ・連絡協議会と連携した訓練の実施	目標値	年3回	年3回	年3回	年3回	年3回	【具体的な取組みと実績】 〔社協〕 ①関係機関が平常時から顔の見える関係を構築することを目的として、18の機関・団体による「災害ボランティアネットワーク連絡協議会」を設置し、会議を開催した。令和3年度から「日本防災士会長崎県支部」が新たに加わった。 ≪第1回≫開催日:令和3年7月5日(月) ※オンライン会議 参加団体:14団体 内 容:令和2年度佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会事業報告、新規参加団体の加入、佐世保市総合防災訓練について ≪第2回≫開催日:令和3年11月1日(月) ※オンライン会議 参加団体:17団体 内 容:令和3年8月の大雨災害の被害状況について 他 講話「災害時に備えた平常時の取り組み」 ～被災地におけるボランティア活動とボランティアから見た災害ボランティアセンターについて～ 講師 日本防災士会長崎県支部 支部長 旭 芳郎 氏 ≪第3回≫開催日:令和4年3月11日(金) ※オンライン会議 参加団体:15団体 内 容:講話「災害時における初動の取り組みと社協間の連携について並びに災害ボランティアセンター運営に係る課題について」 ～二度の被災経験をして思うこと～ 講師 武雄市社会福祉協議会地域福祉係 係長 前田 幸児 氏 令和4年度佐世保市災害ボランティアネットワーク連絡協議会事業計画 (案) 平常時並びに災害発生時における各団体の取り組みについて  ②③佐世保市総合防災訓練・災害ボランティアセンター設置運営訓練 9月1日に実施される佐世保市総合防災訓練においての実施を予定していたが、新型コロナウイルス感染症予防のため中止となったため、実施できなかった。  ○その他 ・災害ボランティアセンターの迅速かつ効果的な運営を図り、災害ボランティア活動を円滑に行うため、「ライオンズクラブ国際協会337-C地区」との協定締結に向けた協議を進めた。 ※令和4年4月8日に締結 ・長崎県災害ボランティア連絡会運営委員会へ参加 ≪第1回≫開催日:令和3年6月1日(オンライン) 内 容:令和2年度事業報告、決算報告について 令和3年度事業計画・進捗状況、予算について 各運営委員団体の役割・連絡方法等について 今後の研修計画及び作業部会について ≪第2回≫開催日:令和4年3月9日(オンライン) 内 容:令和3年度事業進捗状況について 令和4年度事業計画(案)・予算書(案)について 各運営委員団体の役割・連絡方法等について	実績値	3回	1回 ※一部 中止	3回							3	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい。	3
					達成度	100%	33%	100%																
					目標値	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回														
					実績値	年1回	感染 予防の ため中 止	感染 予防の ため中 止																
				災害ボラン ティアセン ター設 置運 営訓 練実 施回 数	目標値	年1回	年2回	年2回	年2回	年2回														
					実績値	年1回	感染 予防の ため中 止	感染 予防の ため中 止																
					達成度	100%	0%	0%																
目標・指標 事業達成度(達成度平均)												50%												

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会 意見 評価	
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5						
【2】ボランティア・市民活動の推進	(4)災害ボランティアに関する意識啓発	58	社協	[社協] ①災害ボランティア研修会等の開催 ・災害ボランティアの普及啓発、意識高揚のための研修会の開催  ②地区自治協議会と連携した災害ボランティアセンター設置運営訓練の実施 ・地区自治協議会で実施される防災関連事業と連携した取組みの推進  ③ホームページ及び広報紙による情報発信 ・社協ホームページや社協だよりによる災害ボランティアに関する情報発信	災害ボランティアに関する研修会等開催回数	目標値	年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	【具体的な取組みと実績】 ①市民やボランティア活動者に対する普及啓発を行うため、以下のとおり計画し実施した。 ○市民向け研修 ※佐世保地域支え合いセミナーとして実施 開催日:令和3年12月3日(金) 場 所:佐世保市労働福祉センター及びオンライン開催 講 演:「災害発生時における、避難行動について」 ～地域防災の大切さと、災害ボランティア活動～ 講師:長崎県社会福祉協議会事務局次長 甲能 邦浩氏 大村市社会福祉協議会地域支援班副班長 木谷 亘氏 参加者:72名(来場者46名、オンライン26名)  ②地区自治協議会と連携した災害ボランティアセンター設置運営訓練 新型コロナウイルス感染症予防のため中止  ③情報発信や被災者支援など ・令和3年8月豪雨災害におけるボランティア活動に関する情報収集や発信 本市から他市の災害ボランティアセンターへの応援実績はなし	3	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい。	3	
					達成度	100%	0%	100%								
					実績値	1回	感染予防のため中止	1回								
					目標値	—	1地区	2地区	2地区	1地区						
				災害ボランティアセンター設置運営訓練実施地区数(地区自治協議会との連携)	目標値	—	1地区	2地区	2地区	1地区	【実施結果の分析と今後の取組み方針】 [社協] ○市民向けの研修会は、新型コロナウイルス感染症予防対策を講じた実施を計画する必要がある。 →会場の分散やオンライン方式を取り入れた実施を引き続き計画する。  ○自治協単位で開催される避難訓練等において、自治協、防災危機管理局と連携し、災害ボランティアセンター設置に係る理解を深める必要がある。 →訓練が出来ない場合でも、地区に出向いで防災に関する講話などを行っていくなど対策を講じる。  ○近年、多くの災害が九州、全国で発生している中、社協ホームページを活用し情報発信に努める。					
実績値	—	感染予防のため中止	感染予防のため中止													
達成度	—	0%	0%													
目標・指標 事業達成度(達成度平均)											50%					

◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会 意見 評価												
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5																	
【3】共に生きる 地域づくりの推 進	(1)ふくし教育の実践	59	社協	〔社協〕 ①地域の関係団体や構成員を対象としたふくし教育の実践 ②地域住民を対象としたふくし教育の実践 ・地区福祉推進協議会と連携し、地域の支え合い、助け合いをテーマにした学習会の開催  ③学校や企業と連携したふくし教育の実践 ・小中学校と連携したふくし教育の実施 ・企業向けふくし教育を推進するためのリーフレット作成  ④市民を対象としたふくし教育推進フォーラムの開催 ・ふくし教育への関心を高めることを目指した「ふくし教育推進フォーラム」の開催  ⑤ふくし教育推進委員会の開催 ・ふくし教育に関する取組みへの意見や助言を得るための委員会を開催(年2回)	ふくし教育実践校数	目標値	18校	20校	22校	24校	26校	【具体的な取組みと実績】 〔社協〕 ①②に関する取組みに関して、地域のいきいきサロンにおいて、防災に関する出前講座やコロナ禍における人権意識や共生にむけた講話を行った。また、各地区の福推協等や町内会等と連携してふくし教育を行う予定であったが、新型コロナウイルスの収束の目途が立たず、開催時期の調整が困難であり、地域を基盤としたふくし教育の推進が難しかった。  ③学校や企業と連携したふくし教育の実践 ○小中学校と連携したふくし教育 プログラムの提案や企画、講師調整等による総合的な支援 実績校:22校(小学校20校、中学校2校) 内容:福祉講話、当事者との交流、体験学習など ○企業と連携したふくし教育 企業の職員研修におけるふくし教育を推進するため、令和3年度に作成した啓発用のリーフレットに掲載している内容に加え、プログラム事例や社会貢献活動の実践を掲載した「実践プログラム集」を作成。 ・企業の職員研修の企画・調整の支援、実施 実践企業:1社(株式会社 山縣) 内容:災害に備えてできること、災害時にできることを考える  ④ふくし教育推進フォーラムの開催 ※佐世保地域支え合いセミナーとして実施 開催日:令和3年12月10日(金) 場 所:佐世保市労働福祉センター及びオンライン開催 講 演:「ふくし教育への期待」 講 師:鎗西学院大学 現代社会学部 教授 中野 伸彦氏 ⑤ふくし教育推進委員会の開催 ふくし教育実践の進捗や今後の進め方の助言など必要な支援を行うことを目的とし13団体で構成するふくし教育推進委員会を開催した。特に「企業向けふくし教育実践プログラム集」の作成に取り組んだ。 ≪第1回≫開催日:令和3年7月15日(木) 内 容:令和2年度事業報告、令和3年度事業計画について ≪第2回≫開催日:令和4年3月3日(木) 内 容:実践プログラム集について、令和3年度事業経過報告 ≪第1回小委員会≫ 開催日:令和3年11月5日(木) 内 容:実践プログラム集掲載内容の検討		実績値	19校	18校	22校							4	今後の取組み方針のとおり実施していただきたい。	4	
					ふくし教育実践企業数	目標値	—	1社	1社	1社	1社				【実施結果の分析と今後の取組み方針】 〔社協〕 ○小中学校と連携したふくし教育について、コロナ禍における対策として感染予防を徹底しての実施と講話をオンラインでの講話にしたことで実践の継続と推進につながった。 →今後も継続的な実施につながるよう、関係性の強化や感染防止対策を行いながらプログラム内容の充実を図り、また、実践報告を作成して周知につなげる。  ○ふくし教育推進委員会で作成した企業向けふくし教育実践プログラム集の配布による広報・周知をすすめ、実践企業の増加につながるよう取り組みを行う。  ○市民向けのフォーラムを令和3年度「地域支え合いセミナー」のひとつとして、ふくし教育の講演を行い、オンラインでも配信を行うなど、新しい取り組みができたので、今後もオンライン等取り入れた講演など検討する。		実績値	—	1社	1社							
					達成度	—	100%	100%								目標・指標 事業達成度(達成度平均)		100%									



◆第3期佐世保市地域福祉計画・佐世保市地域福祉活動計画 令和3年度取組み評価一覧表

基本目標②		地域における福祉活動の充実と人材育成～様々な課題を解決できる地域力の強化～										令和3年度 具体的な取組み実績 実施結果の分析と今後の取組み方針		自己 評価	推進委員会 意見 評価				
施策	事業名	ページ	実施 主体	事業内容(主な取組み)	目標・指標等	R1	R2	R3	R4	R5									
【3】共に生きる 地域づくりの推 進	(2)地域福祉への 意識啓発	60	社協	〔社協〕 ①地域福祉講演会の実施 ・多くの市民に地域福祉への理解と 関心を高めてもらうための講演会を 開催  ②地域福祉に関する出前講座の実 施 ・佐世保市出前講座のメニューに掲 載、その他関係機関や団体からの依 頼にも対応する。	地域福祉講演 会開催回数	目標値 年1回	年1回	年1回	年1回	年1回	【具体的な取組みと実績】 〔社協〕 ①地域福祉講演会 ※佐世保地域支え合いセミナーとして実施 開催日:令和3年12月2日(木) 場 所:佐世保市労働福祉センター及びオンライン開催 講 演:「高齢者を取り巻く地域の支援体制づくりの現状と課題」 講 師:藤島 法仁(長崎短期大学 地域共生学科介護福祉コース長・教授) 参加者:90名(来場者65名、オンライン25名)  ②地域福祉に関する出前講座の実施 ・佐世保市を通じた出前講座依頼 なし ・その他関係機関・団体への対応 清水地区サロン「新型コロナウイルス感染症に関する講話」 柚木地区サロン「地域の防災対策に関する講話」	実績値 1回	1回	1回			3	今後の取組み方針 のとおり実施してい ただきたい。	3
					達成度 100%	100%	100%				【実施結果の分析と今後の取組み方針】 〔社協〕 ○新型コロナ感染症予防のため、会場参集とオンライン配信を行い、地域住民や保健、 医療、福祉関係事業所、ボランティア団体等の各分野から、オンラインも含めて多くの参 加があり、地域福祉の理解や地域福祉活動への参加啓発を図るという目的に沿って、工 夫を凝らして実施ができたと思われる。アンケート等の意見を参考にしながら、住民が関 心のある内容について、講演会を実施できるように検討する。  ○地域福祉の出前講座に関して、新型コロナウイルス感染症予防のため実施の呼びかけ が難しい状況にあった。 →新型コロナウイルス感染症予防対策として、少人数での開催やオンライン配信を検討 する。また、社協が対応できる講座の内容を一覧でまとめてメニューとして周知するなど、 引き続き講座の様子を含めて広報紙等に掲載していく。	目標・指標 事業達成度(達成度平均)	84%						
	(3)福祉活動プラ ザの運営	60	市	〔市〕 ①福祉活動プラザの管理運営  ②福祉系団体及びその活動に対する 支援  ③福祉的支援が必要な人を支える人 材育成  ④市民を対象とした福祉に関する意 識醸成、啓発活動	会議室等利用 人数	目標値 12,200人	12,400人	12,600人	12,800人	13,000人	【具体的な取組みと実績】 ・障がい者社会参加講座 開催回数 5回、参加者数 58人 ・高齢者、障がい者疑似体験教室 開催回数 28回、参加者数 1,281人 ・障がい者サポーター 開催回数 5回、参加者数 49人 ・認知症サポーター養成講座 開催回数 61回、参加者数 999人 ・プラザだよりの発行 発行回数 6回、・入居団体PR用チラシの作成	実績値 11,743人	4,569人	5,454人			3	今後の取組み方針 のとおり実施してい ただきたい。	3
				達成度 96%	37%	43%				【実施結果の分析と今後の取組み方針】 開設から7年が経過。新型コロナ感染症予防のため施設自体の休館や会議室等の利 用制限を行ったこともあり、目標値を下回っている。一方で福祉系の教室や人材育成のた めの養成講座が多数開催されるなど、福祉活動の拠点としての役割を果たしている。引き 続き市民を対象とした啓発活動や施設の管理運営を適切に行っていく。	目標・指標 事業達成度(達成度平均)	43%							
基本目標 総合評価													C						